東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携
「個性の大地」

第１７号（平成１７年　８月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

整備局情報

総合流域防災協議会の第１回開催を終えて

総合流域防災事業は流域単位を原則として、個々の事業規模が小さい等から個別箇所毎の予算管理を行う必要性が低い事業を包括的に補助する制度です。

豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるため国、県等が連携して流域全体の安全度の確保状況を調査・評価し関係機関が連携して整備を進めることが重要です。

このため、一級水系の流域単位を原則に総合流域防災協議会（以下、「協議会」という。）を設置し、直轄事業及び補助事業等の双方について、情報共有・調整等を行い、的確な予算運営を始めとして効果的・効率的な水害・土砂災害対策を推進することとしています。

二級水系についても、一級水系に準じて協議会を設置し、十分な連携を図り災害対策を推進していきます。

管内２０圏域（県単位）の協議会は、流域単位に１７協議会を設置することで計画（東北担当１５、関東１、北陸１）しました。

総合流域防災協議会開催状況

県　　名	圏域名	開催日	県　　名	圏域名	開催日
青森県	岩木川	H17.6.14	秋田県	米代川	H17.6.15
（青森県庁）	青森・むつ	H17.6.14	（秋田市内）	雄物川	H17.6.15
	高瀬川	H17.6.14		子吉川	H17.6.15
	馬淵川 *	H17.6.14			
岩手県	北上川 *	H17.5.23	山形県	最上川	H17.6.13
（盛岡市内）	馬淵川 *	H17.6.14	（山形県庁）	赤　川	H17.6.13
（青森県庁）	三　陸	H17.5.23	（新潟市内）	荒　川 *	H17.6.21
宮城県	北上川 *	H17.5.23	福島県	阿武隈川 *	H17.6.2
（宮城県庁）	名取川	H17.6.2	（福島県庁）	阿賀野川 *	H17.7.11
（盛岡市内）	阿武隈川 *	H17.6.2	（宮城県庁）	いわき・相双	H17.7.11
			（水戸市内）	久慈川 *	H17.6.30

1)＊印は流域が２県に跨る圏域（６圏域）、県名下段（　）書は開催場所

2)２県に跨る６圏域のうち、阿賀野川を除く５圏域は２県合同の協議会を設置

3)２県合同の５協議会のうち、３協議会（馬淵川・北上川・阿武隈川）は県単位の分科会を下部組織として設置

第１回の協議会は、5 月 23 日開催の北上川、三陸圏域を皮切りに最終は 7 月 11 日開催された阿

賀野川、いわき･相双圏域で締めくくられています。

今回の協議会において、規約案、構成メンバーの審議が行われ協議会の設立が承認されるとともに、各県単位に直轄・補助事業の実施箇所図及び一覧表が成果としてまとめられました。今後は、デジタル情報等による共有化のためのシステムを構築していく予定です。

また、協議会毎の議事では、流域内市町村長に災害発生時の危機管理能力を高めるためﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ演習とｱﾝｹｰﾄ調査の実施などが提案されています。他には、ｿﾌﾄ施策対応ﾏｯﾌﾟ（自治体のHM作成状況等）の作成を検討していきます。

特　　集

携帯メールで水位情報～事前の洪水避難おしらせ事業　【青森県】

平成１６年は、観測史上最多の数の台風が上陸したことにより、全国各地で水害が発生し、長崎水害が発生した昭和５７年以降、最大の死者・行方不明者数を記録しました。中でも、避難に時間を要する災害時要援護者が犠牲者の約６割を占めました。



このことから青森県では、情報通信技術を活用して県民生活の向上を図る「ユビキタスあおもり推進プロジェクト」の１つとして、河川の水位情報を「いつでも」「どこでも」「だれでも」入手することにより、洪水の危険性を事前に予測して、水防活動や避難行動に役立ててもらうため、平成１７年度から「事前の洪水避難おしらせ事業」を実施しています。



これは、降雨の状況によって避難勧告や避難指示が予想される場合に、事前に住民の方に避難の心構えや余裕をもった準備をしていただけるよう、自分が知りたい水位観測所名とアドレスを携帯電話から登録するだけで、河川の水位が警戒水位に達したときにメールでおしらせするものです。

平成１７年度は、一級河川馬淵川、如来堂川及び二級河川蟹田川を対象に、名川町、南部町、外ヶ浜町をモデル地区として試験運用を行い、平成１８年度からは県内全域での運用を予定しています。

■水防法等改正説明会について　【山形県】


山形県庁での説明会状況

去る６月１日山形県庄内総合支庁、６月２日山形県庁にて「水防法等の改正法案に関する説明会」が開催されました。

講師として国土交通省河川局防災課田村調整官、水政課松本企画専門官をお迎えし、今回の改正のポイントである１．水害時の情報提供の充実、２．浸水想定区域及び洪水ハザードマップの作成の促進、３．浸水想定区域及び土砂災害警戒区域等の区域における警戒避難体制の充実、４．水災防止体制の強化について、解りやすく説明していただきました。更に、説明会の中で、平成１６年福井豪雨の出水状況のビデオを上映し今回の水防法の改正のポイントでもある中小河川の水位情報の重要性とハザードマップの必要性が示唆されました。

説明会には２会場合わせて約２００名の国、県、市町村の関係者及び一般の方の参加となり、昨年に甚大な風水害・土砂災害が全国各地で発生したこともあり熱心な聴講となりました。また多くの質問があり、関心の高さが伺われました。

トピックス

東北６県・仙台市からの情報

盛川水系に建設中の鷹生ダム試験湛水開始【05/11】

岩手県

鷹生ダムは岩手県大船渡市日頃市町に建設中の多目的ダムです。平成元年建設採択され昨年本体コンクリート打設を完了し、平成 18 年度の完成を目指しています。

今年 5 月 11 日に、ＪＶの主催で湛水式を行いました。式典では橋本県土整備部長、大船渡市


堤内仮排水路　ゲート降下　完了


下流からの全景

長列席のもと、試験湛水の無事終了を祈願しました。その後、堤内仮排水路に設置されたゲートを閉塞して湛水を開始しました。

サーチャージ水位に到達するのは来年 5 月の予定です。ダム天端からは春はツツジ、夏はシャ

クナゲが美しい五葉山を展望することが出来ますので、どうぞ見学においでください。

最上川・赤川合同水防演習開催【05/28】

山形県

去る５月２８日に酒田市最上川河川敷で最上川・赤川合同水防演習が行われました。

昨年は全国各地で洪水被害が起きたこともあり、本番さながらの水防工法演習や避難訓練等に、水防団をはじめ、地元高校生や東北公益文科大学の学生、地元小学生など一般見学者もあわせると約３，７００人にのぼる参加者の水防意識の高揚が図られました。

同時開催された「水防フェア」では災害対策車の展示や降雨・土石流が体験できるコーナーもあり、多くの家族連れで賑わっていました。



避難訓練状況

猪苗代湖十六橋水門竣工式・運用式【06/07】

福島県

去る平成１７年６月７日に猪苗代湖十六橋水門改修工事の竣工式と運用式が行われました。

運用式では佐藤福島県知事が式辞を述べ、中村国土交通省河川局治水課長補佐と小松山県議会副議長から祝辞を頂き、本多喜多方建設事務所長が工事経過の報告を行いました。この後、佐藤知事をはじめとする関係者らによりゲート放流を行い、工事の完成を祝いました。



ゲート放流の様子

砂子沢ダム広報館の開設【06/11～12】

秋田県

毎年６月に秋田県小坂町で開催されている「アカシヤまつり」において、県砂子沢ダム建設事務所では当町に建設中の砂子沢ダムの広報館を開設し、ダム事業についてのＰＲを図りました。

この広報館では、ダム事業に関するパネル展示のほか、ダムに関するクイズや、水や岩石を使った実験などを行い、多くの方々に楽しく参加していただきました。また、現場見学会も併せて開催し、普段あまり見ることがない工事現場を見学した参加者は、ダム工事現場の規模の大きさに驚きながら、熱心に工事担当者の説明に聞き入っていました。

平成４年度から建設工事に着手した砂子沢ダムは、今年の８月２７日にダム本体の定礎式を開催する予定であり、平成２２年度完成に向けてダム工事が最盛期をむかえます。今後もダム事業についてのＰＲを積極的に行い、事業に対する住民の理解を深めていきたいと考えています



水害･地震･土砂災害パネル展の開催について【06/12】
～備えは万全ですか？（自助・共助・公助）～

宮城県

６月１２日は県民防災の日です。また，６月は土砂災害防止月間であり，出水期を迎え水害に対する備えが必要となります。

宮城県では過去に幾度となく大洪水や大地震に見舞われてきました。こうした災害は，いつどこで発生するかわかりません。この恐ろしさを忘れることなく，常に防災に対する備えを心がけておくために,「備えは万全ですか？（自助・共助・公助）」をテーマに過去に発生した洪水，地震，津波，土砂災害の記録写真等によるパネル展を６月 13 日(月) ～17 日(金)まで、県庁行政庁舎１階ロビーにて開催しました。また、ザ･モール仙台長町店などの商業施設（３箇所）においても展示を行いました。



土砂災害防止講演会開催【06/17】

青森県

本県では、例年、土砂災害防止月間の６月に、土砂災害を防止するための普及啓発活動の一環



伊藤和明氏



三島和子氏

として土砂災害防止講演会を開催しています。
今年の講演会は元ＮＨＫ解説委員である伊藤和明氏（防災情報機構会長）とインターリスク総研の三島和子氏を招いて防災に対する備えや災害時の心理学について講演をいただきました。

二級河川大川における特別警戒水位の表示について

宮城県

宮城県では、平成１４年７月の台風により、市内全域に避難勧告が発令された気仙沼市の二級河川大川において、特別警戒水位を定めるとともに、この特別警戒水位と警戒水位を住民の身近で目に触れる場所（本町橋の橋脚）にマーキングを行いました。

こうした取り組みによって、大雨の際に避難等の目安となることはもちろん、常日ごろから、住民の方々に河川の水位に関心を持っていただき、水害に対する心構えの普及啓発にもつなげたいと考えています。



今後、県内の水位情報周知河川において、随時この取り組みを展開していく予定です。

津波防災ＳＴ

岩手県

津波・高潮防災ステーション事業に位置づけて整備を進めてきた種市町内の３海岸（平内海岸、小子内海岸、原子内海岸）における水門、陸閘の遠隔制御化、および久慈消防署種市分署における操作管理の一元化工事が概成しました。
このことにより、迅速、確実、安全な施設閉鎖が可能となりました。



整備局の動き

【連携情報】
東北管内土砂災害警戒情報検討会の開催【08/25 予定】

「土砂災害警戒情報」は、避難勧告の判断の支援・住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で作成・発表する情報です。

平成１８年度以降の本格運用にむけて各県砂防担当者と地方気象台の皆様が、連携に向けた課

題・検討事項を議論・情報を共有しながら本格的運用に向けた体制整備を進めるための検討会を開催いたします。

日時：平成１７年８月２５日（木）１３：３０～１７：００

場所：仙台第三合同庁舎　４階会議室

【連絡事項】

①災害関連緊急事業採択状況【地域河川課】

■ナベヤキ沢砂防（山形県西村山郡朝日町）　事業費　111,000 千円【採択日 H17.06.03】

■平岡１号区域急傾斜地（青森県青森市）　事業費　383,000 千円【採択日 H17.06.06】

②完了検査について【水政課】

補助事業の完了検査は、補助事業の成果が補助金交付の決定の内容及びこれに附した条件に適合するかについて調査するために行っていますが、今年度も平成１６年度完了事業を対象とし、下記の日程で実施する予定です。効率的な検査が実施できますようご協力の程よろしくお願いします。

9月 13 日（火）～9月 16 日（金）…山形県
9月 27 日（火）～9月 30 日（金）…青森県
10 月 11 日（火）～10 月 14 日（金）…岩手県
10 月 25 日（火）～10 月 28 日（金）…秋田県
11 月８日（火）～11 月 11 日（金）…宮城県
11 月 15 日（火）～11 月 18 日（金）…福島県

③地域河川課のスタッフ　７月１日【地域河川課】

小関地域河川課長（M3811）

瀧澤課長補佐（M3812）	清水野係長（M3821）、渡邊（M3822）	総括、補助河川、海岸事業関係
	庄子係長(M3826)	河川基本方針等（２級水系）
櫻井建設専門官（M3815）	庄子係長	補助ダム事業関係
	外山係長(M3827)	補助砂防事業関係

下線が新メンバーです。

編集後記

７月１日付で、整備局編集員が異動になり不慣れなところもありＨ１７年度の２度目の「個性の大地」の発刊が遅れてしまいました。新メンバーも前任者同様よろしくお願い致します。
なかなか明けない梅雨、あっという間に過ぎた短い夏でした。地域の話題、新たな取り組み、技術紹介等の情報が有りましたら、当方もしくは、各県の編集員（河川担当課編集員）にお願いします。また、投稿などは随時受付けていますので是非御一報ください。

本誌に関して御意見、問い合わせがございましたら　地域河川課　までお願いします。
発行　　国土交通省 東北地方整備局 河川部 地域河川課
〒980-8602　仙台市青葉区二日町９番１５号